元雷也豪傑譚

三十八

種員作

國貞画

甘泉堂

壽梓

へ13
3877
18

金泉市
柳下亭種員作
一壽齋國貞画
仆題曲亙團
上

門 へ13
38777
18

兒雷也豪傑譚

第廿七編上冊

柳下亭
種員作

一壽斎
國貞画

甘泉堂

一種の伽羅も衣裳ふ薫ともむると佛前ふ炷と陽と陰この相違あつて幻術とおくるやまく邪道ふ是と用ると正路ふ依て行く〳〵善と悪との差別こうり兒雷也が中道より非義と悔善ふ帰せるの後其術必悪を擯烏ふ行趣そ先編の序文ふ述つれば今此巻ふりめぐりくるそ細手う蛞蝓の奇術ハ猶更元來地儀の感應慈善義軍と興る今川時秋と大洋の中ふ救妖曲ふ老し鰐淵現藤太と郊原ふ蹶たると勧善懲悪ふ〳〵ぬいたり妖術と唱れば悪ふ限るやうなれども善と助る一端ともなるハ一品の伽羅ふ陰陽あるふ等ものふくと比れど煙ふ似くる錯乱不文花香もあ〳〵ぬ頑物語ハ只春雨の徒然ふ児童の欠伸を慰んと欲而已

安政巳未初春

柳下亭種員識

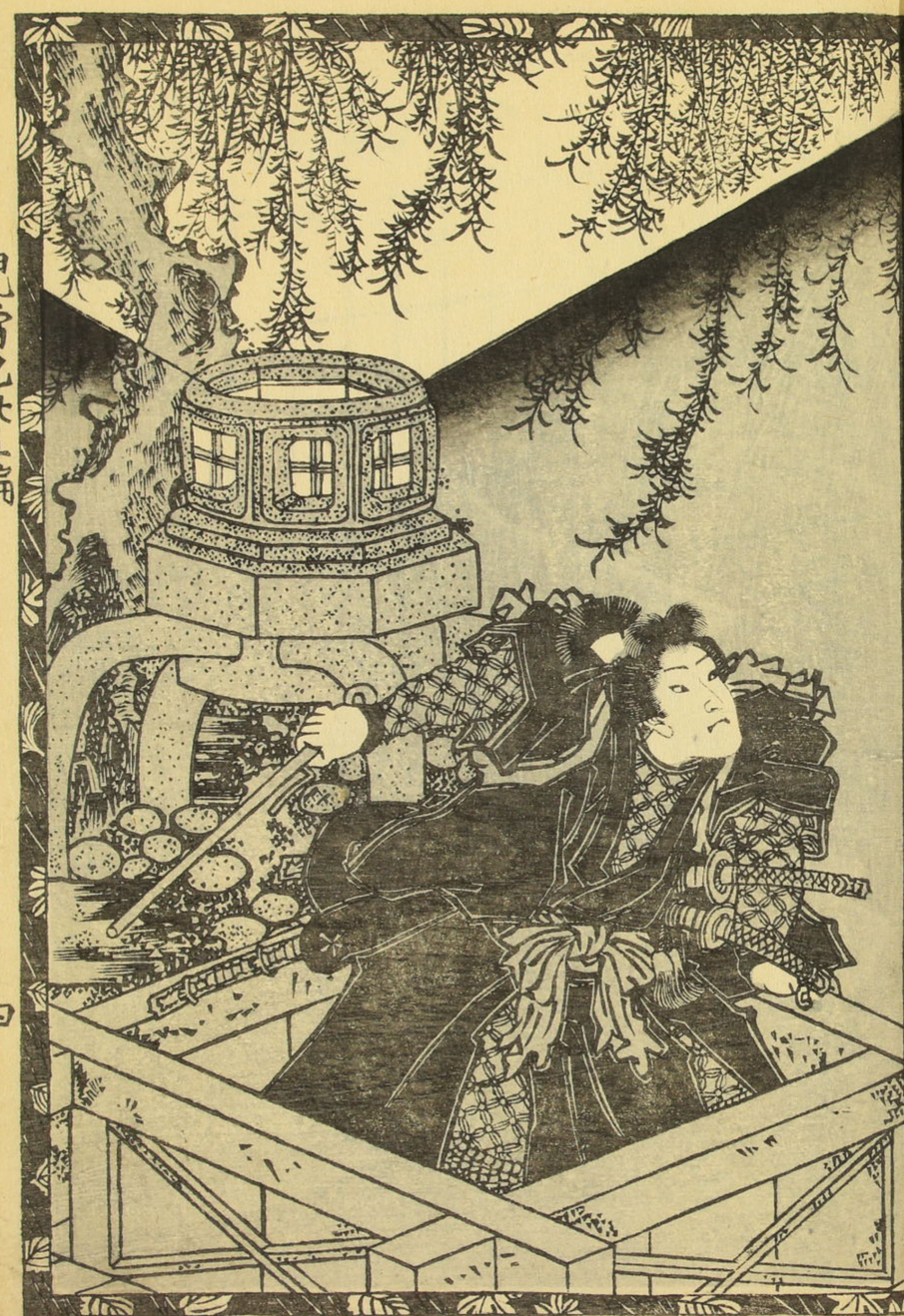
月影深雪之助照道

鰐淵現藤太

高砂勇貝之助
好照田

巳賊
大蛇丸

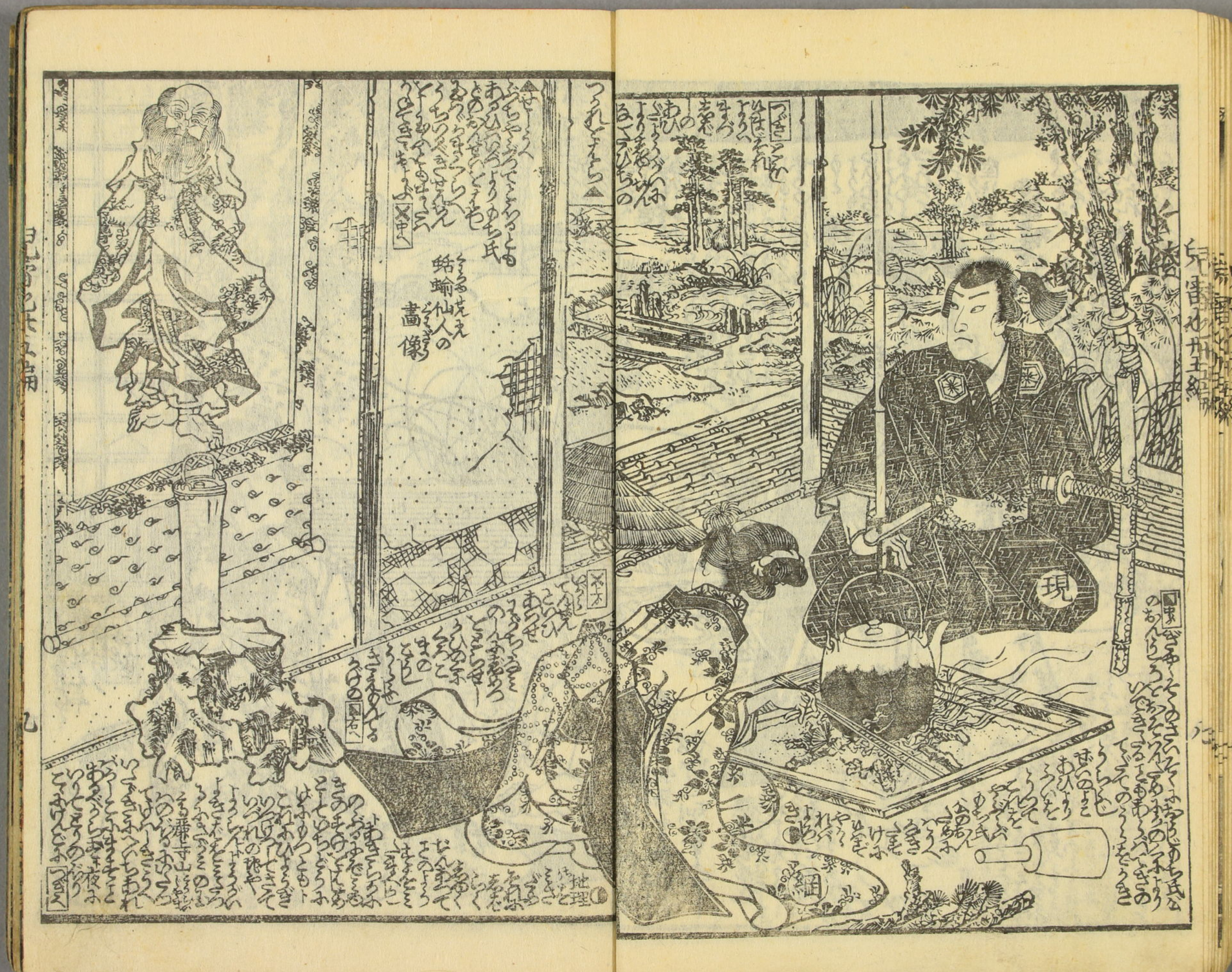
勇婦
細手
杜戸濱之助
入道清心



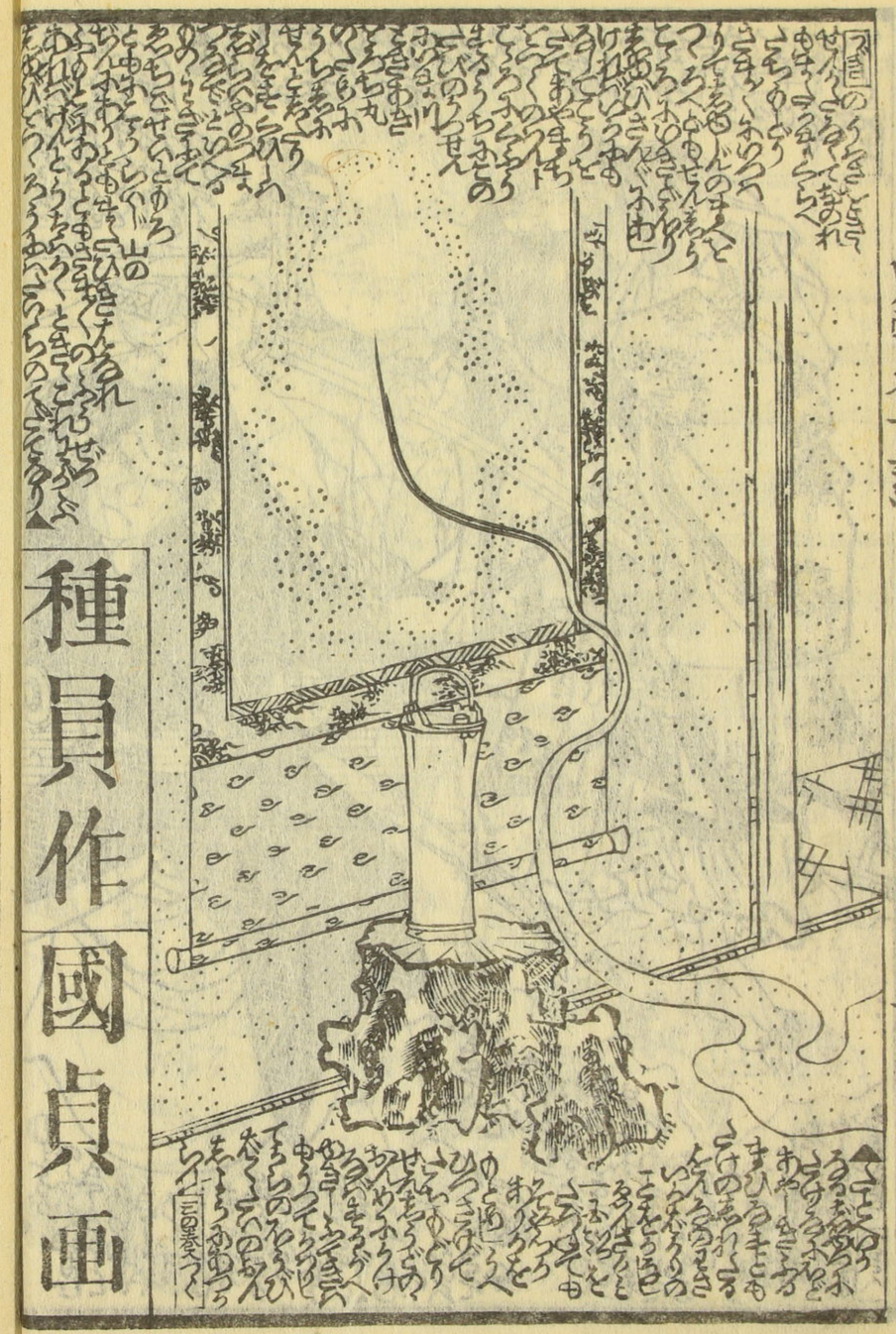
義助於宮ノ怨魂

力松更名して姫松須磨太郎

現
つぎき
つぎき
つぎき


現
紙

蛞蝓仙人の畫像



種員作
國貞画

柳煙亭種久作
一壽齋國貞畫

忠臣貞婦
いろは文庫

初編 附録一冊
二編 出板 列
三編 菱湖

柳下亭種員校合
一場齋豊國助筆
梅素亭玄魚補

仮名反古一休草紙 九編 十編 十一編
柳下亭種員作
一壽齋國貞画

小女郎蜘蛛草環 三編 曲亭馬琴作
大尾 一勇齋國芳画

照天松操月鹿毛 五編 六編
春風亭柳枝作
一雄齋國梶画

風俗浅間嶽 五編 六編
種員校合
種久抄録
國貞畫

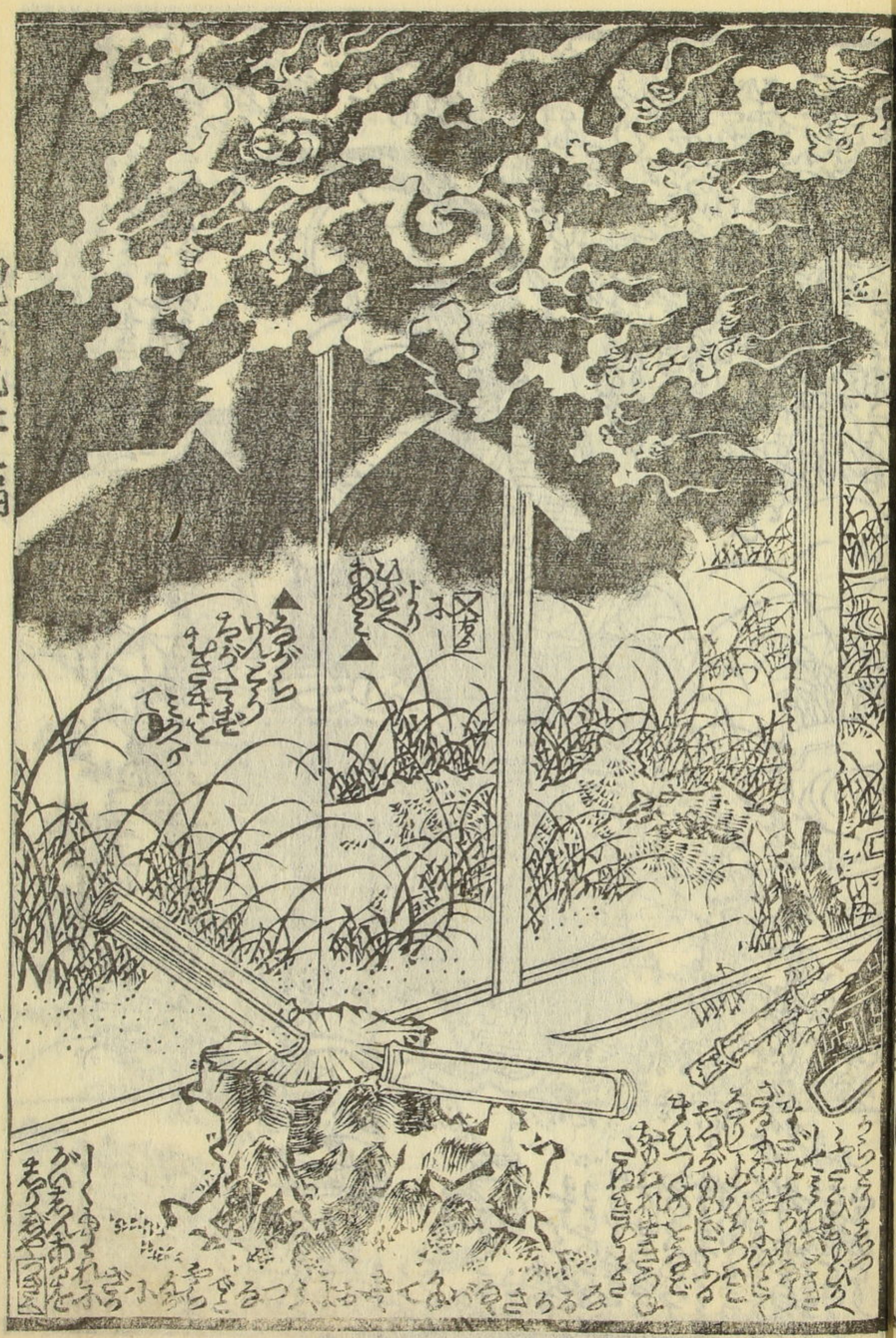
児雷也豪傑譚 五十
二

忠義水滸伝十五編下冊

種員作 国貞画

板元 芝金吾

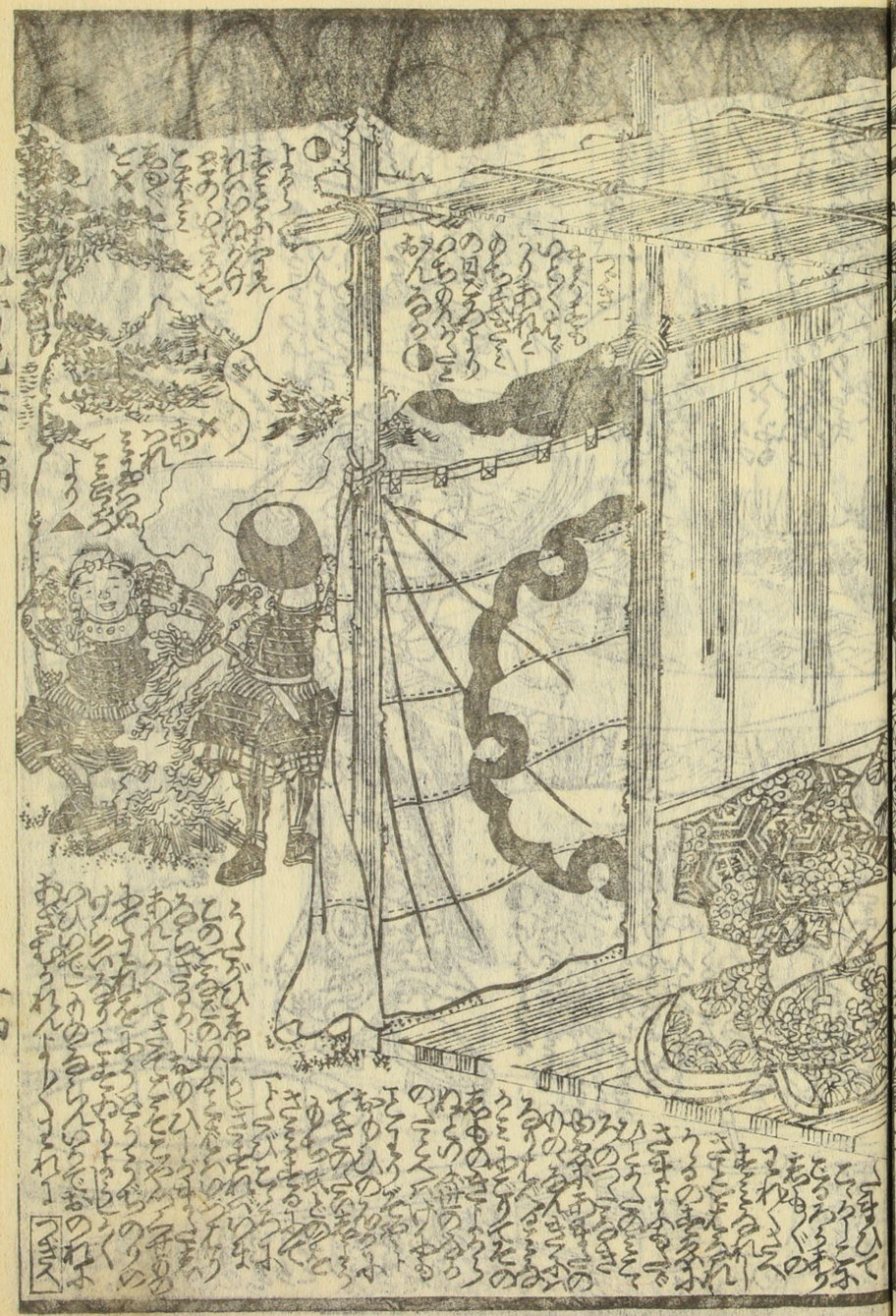
現

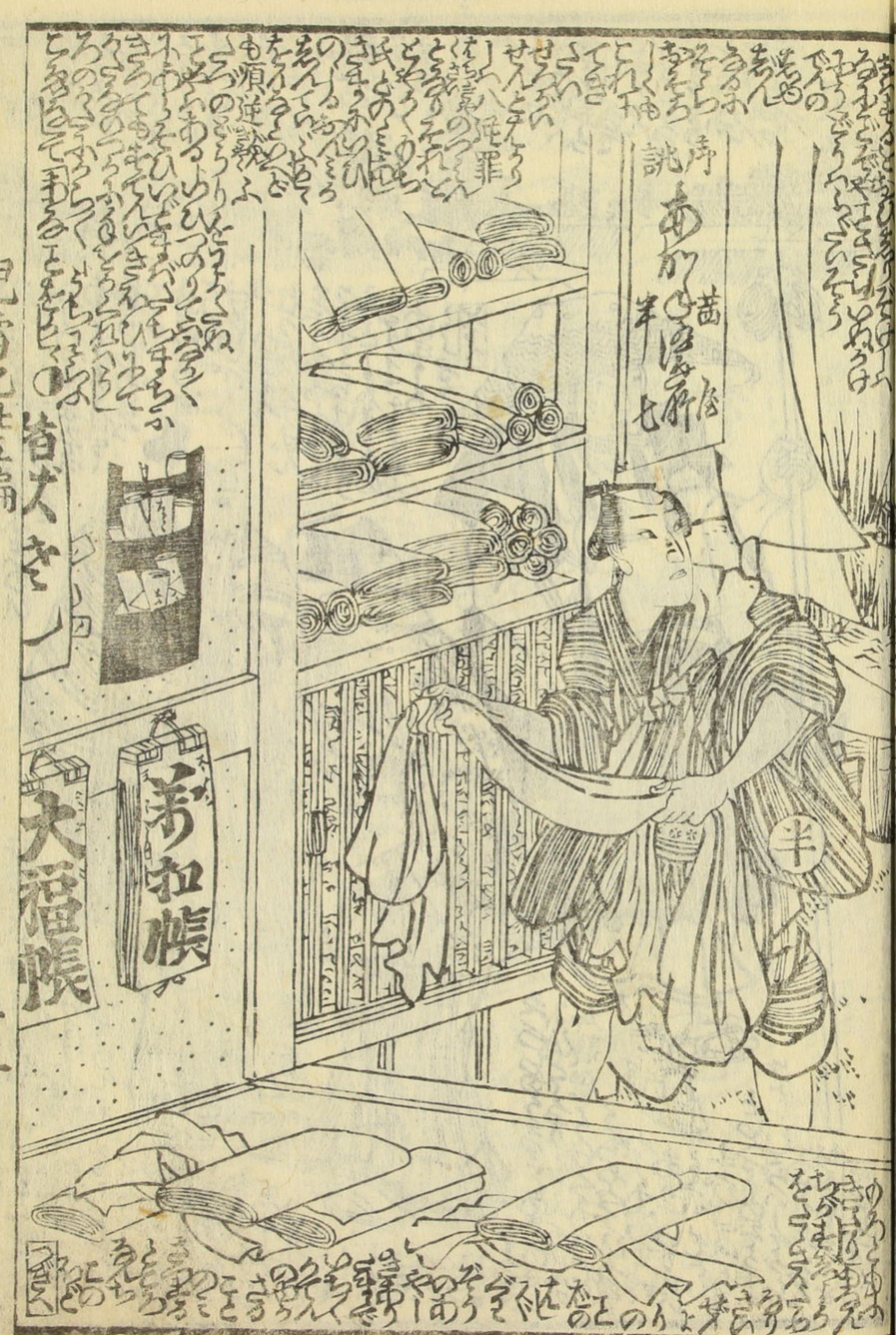


現

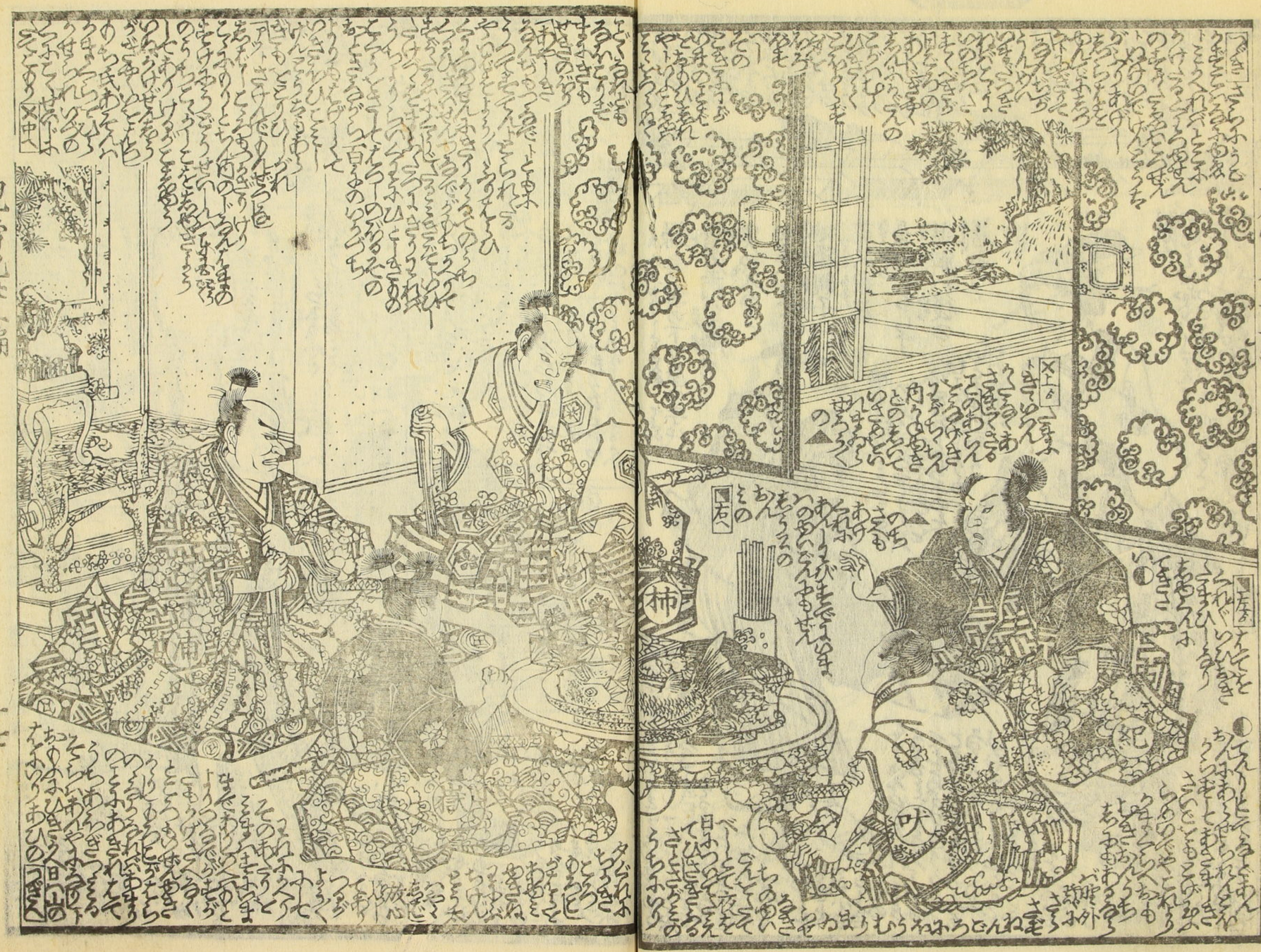
清

相摸國高麗寺山の陣中ゝ綱手蛞蝓丸の短刀を乞預る

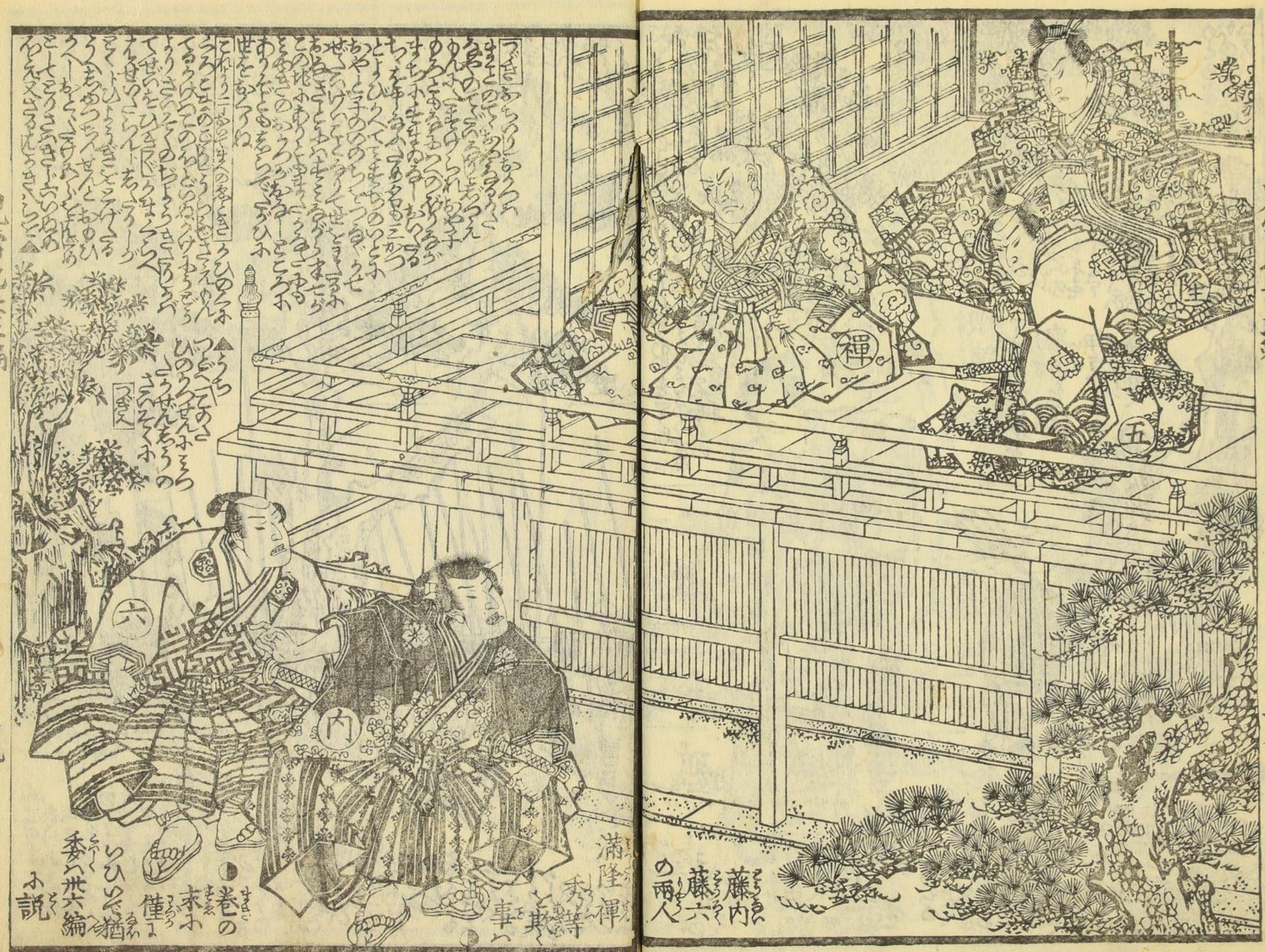



大福帳
茅和帳

鎌倉雪の下カ屋の手代
實左門八三勝ク
実の父ゥ
諸共難波
長町ゥ
話解ハ後の
巻ゥ
實
勝


柿
紀
吠
柿
獄

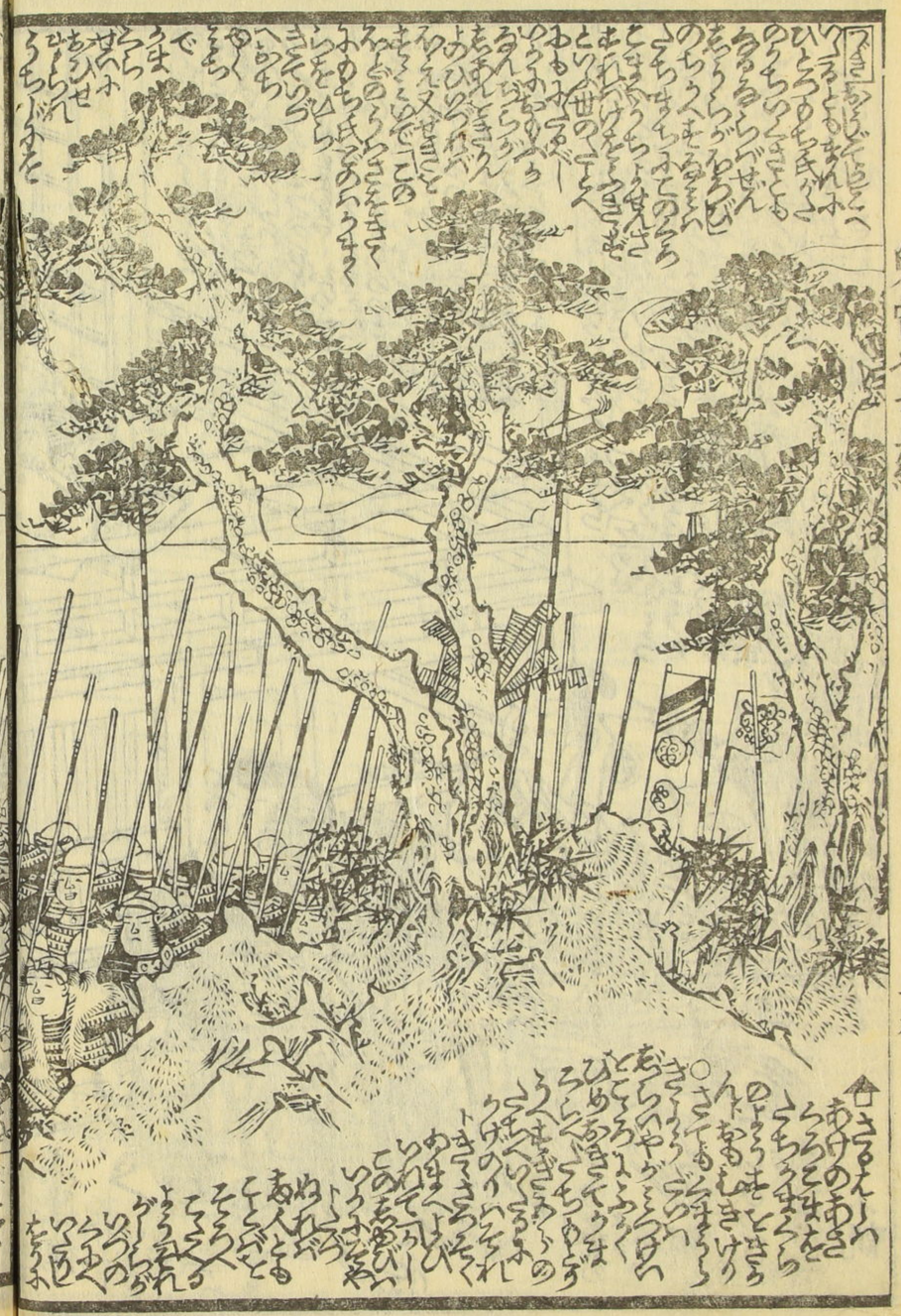
六
内
伊豆より
鎌倉へ
戻



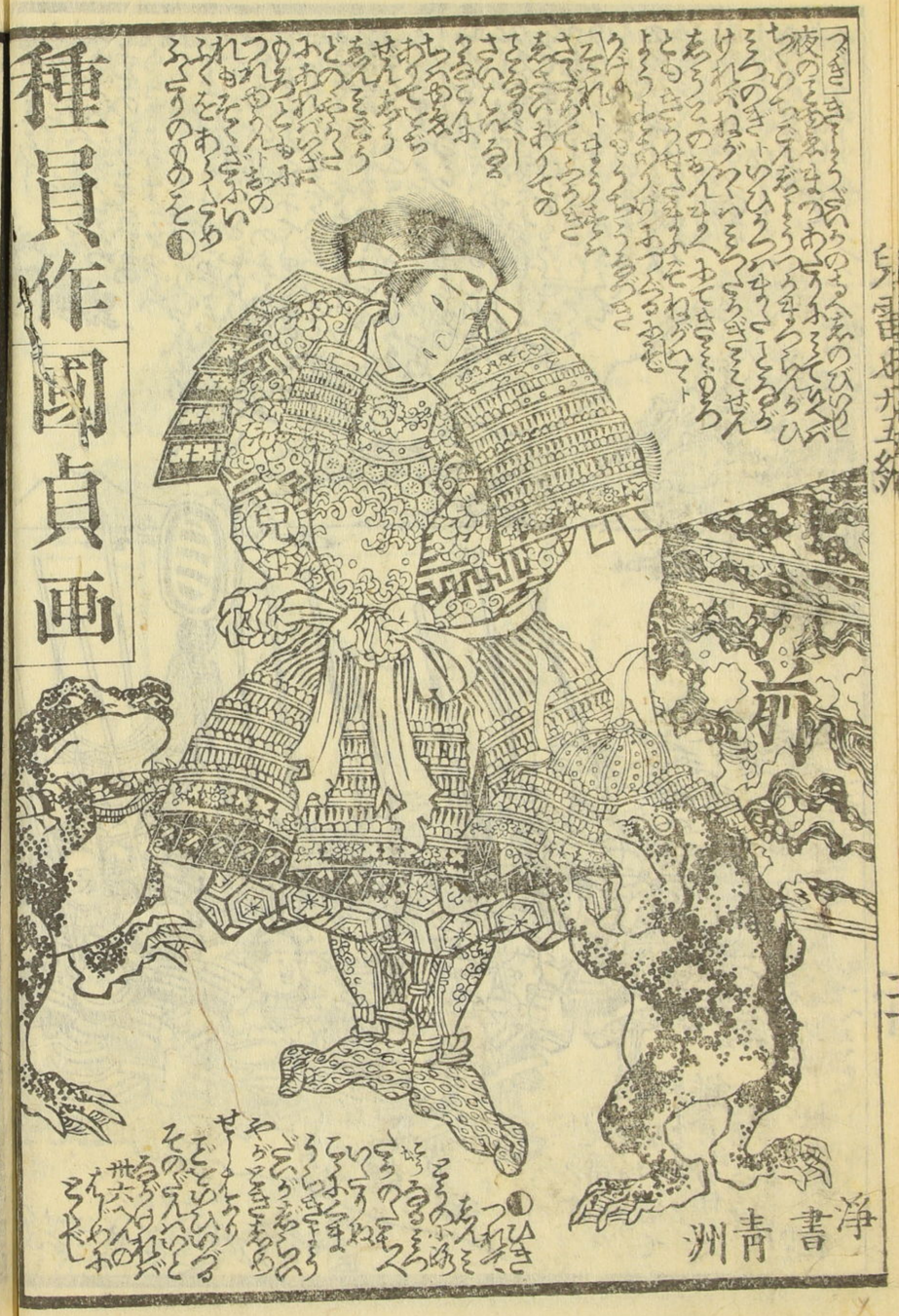
藤内
藤六
の両人

満隆禪
秀時
欺
事ハ

巻の末ハ
僅ニ
いひそ猶
委ハ共六編
ハ説



兒雷也が妙計成て鎌倉勢伊豆へ赴く此條は廿六編に在



繪本豐臣勲功記

八功舍德水刪補
一勇齋國芳畫圖

初編より十二編まで全部百九冊
但初編より追々出板

初編 〈日吉丸の出生より和田山攻織田家に仕佐久間の出陣進岩倉攻稲葉攻丹羽と付滅亡の條〉

二編 〈大濃攻延暦寺攻浅井攻朝倉攻金ヶ崎の奇計と初移封と攻淵川〉

三編 〈三好勢と戦と國中退道軍と還と勝南の北畠と攻摩耶山〉

四編 〈淀川と合戦と備中と姉川と合戦と備中朝倉と敵と出馬と採と一千八百軍家近江と乗馬と播州攻と智勇と撤と〉

五編 〈丹波の攻撃と攻撃と鳥取の兵糧攻と和睦と水攻〉

六編 〈信長軍と甲信と向て武田勝頼と滅亡せしめ光秀逐と叛心と本能寺二條の城と逆戰と秀吉中國と帰返と編と番〉

清盛評定ふ巻収る **七編** の巻と大徳寺の饒舌場ふ編初て賜ふ嶽の大合戦
鵜川一蔓神戸信孝の没落〜帙と為る **八編** 〜四国の長曽我物語攻かゑ
翁勇兎神と強ろ〜焼山城ふ十八度の怪物退治 **九編** 〜四国辯慶より九州
平治の夾中〜貴国孫兵衛ゲ相撲と加ふ **十編** 〜小田原沖陣ふ関東八州
ふ十文城と攻援像〜凱歌と唱へ〜還軍し給ひ遂ふ太閤の稱と得る手ぐ
最特ふを **十一編** 二十巻と成〜朝鮮ふ度の征伐と仔細ふ編輯する
至ふ〜競ふて覧と帰ふ

新編金瓶梅全輯

自初編至十編大尾

曲亭馬琴翁作
一陽齋豊國画

書肆甘泉堂芝神明前 和泉屋市兵衛版

安政四丁巳春 發行
日録記

女郎花五色石臺 八編 柳下亭種員作 九編 一陽齋國盛画

新編金瓶梅 初編〜十編迄大尾 曲亭馬琴作 一陽齋豊國画

曽我金水大学蛋 五編 六編 出板 為永春水作 歌川國貞画

一猛齋芳虎画
六歌撰詠色双六
[illegible]

小倉百人一首姫文庫 極彩色 小本一冊

古今俳人百撰 中本一冊 荒木田久老 [illegible]

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

兒雷也豪傑譚

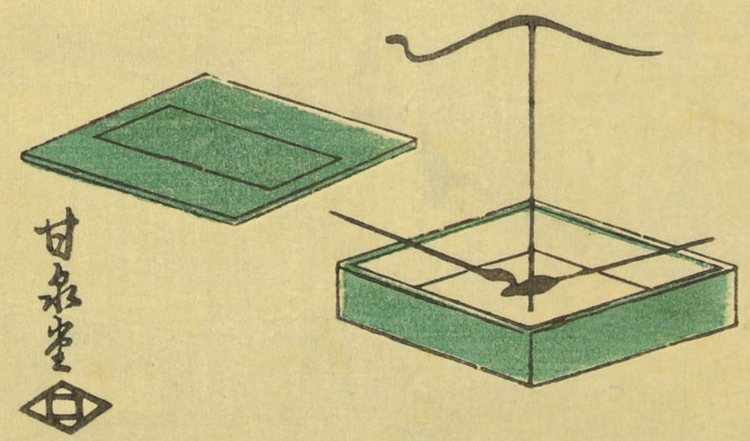
三十六編

上

兒雷也

卅六編 上冊

東京高等師範学校図書之印



兒雷也豪傑譚序三十六編序

漢土の杜元劉い左傳の癖あり王福時い子と譽癖、ありて和朝ハ時平公を笑癖ありて己ふ遲筆乃癖あるを書房ご催促の繁よりけ熟思ハ一季ゟ三せと詠たまひしゝも哥乃十種五十種を著作本吏い凡庸ゟ鬼神欲天狗欲妖怪欲注連ご飾ゟ橙ご正月東西と鬻ゟ年の市ごゟ翌年ハとゝの市迄延つゞけ考通ふ腹匠てし十種を爭覚束無ふ一つゟ先さ「ゑ」の達筆やと自短才い省で他のゝ頻ゟ羨いまゝ是愚痴の癖有とふべゝ

安愛已未閏端

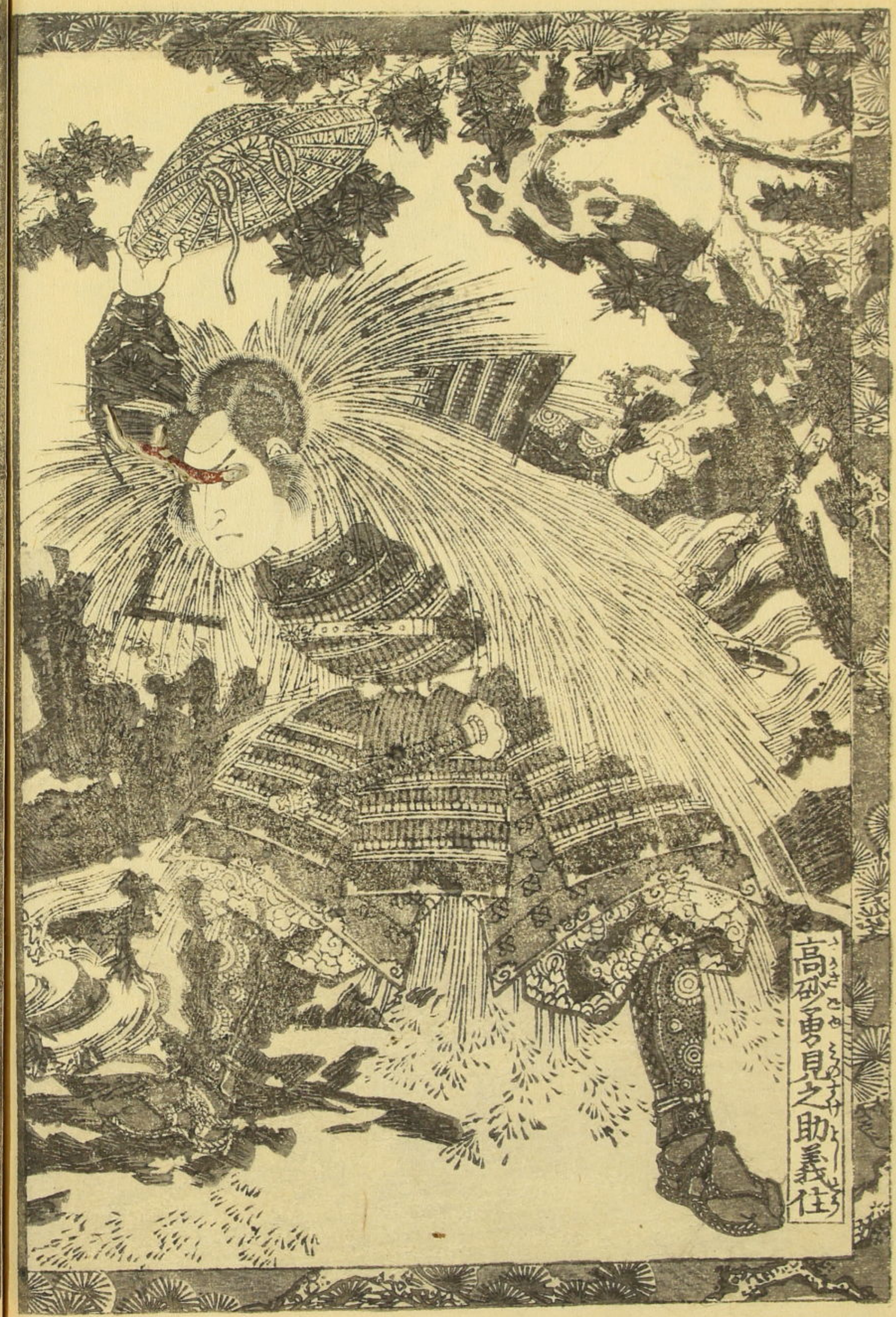
柳下亭種員記

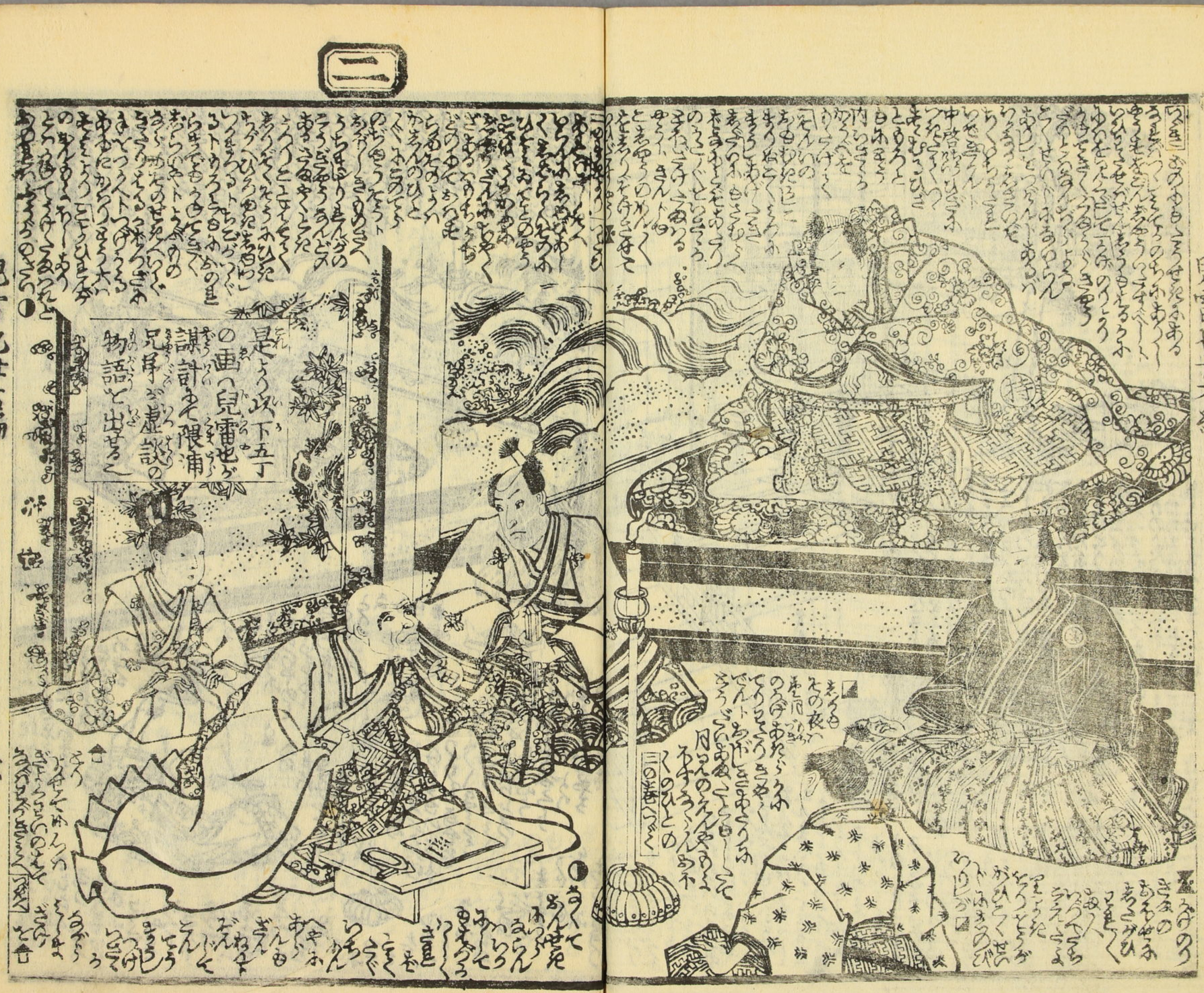
侠客夢蝶兵衛
今市全右工門
千代花

美濃屋三勝

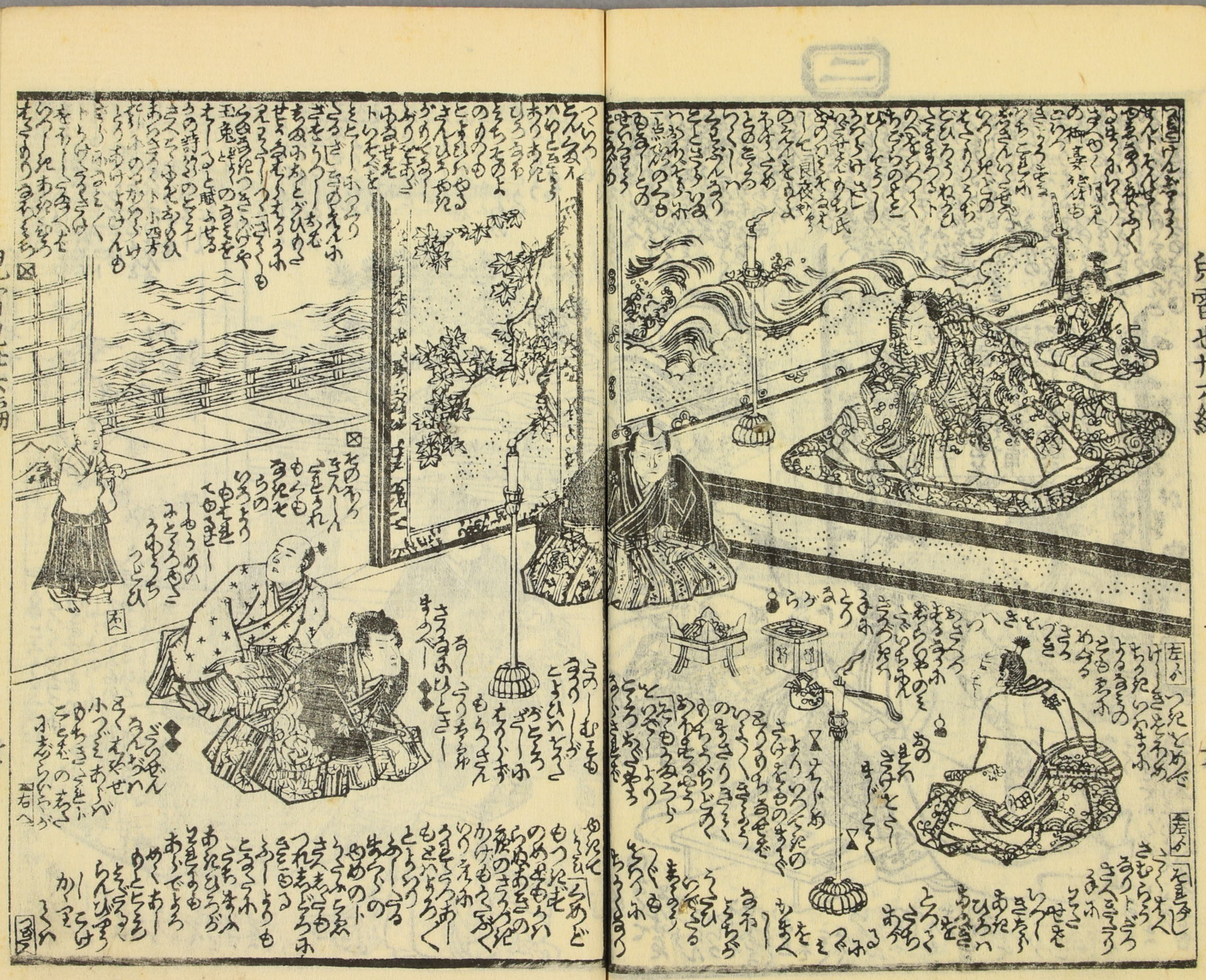
蛞蝓仙人
蛞蝓丸乃短劍
大蛇を退治也
兒雷也

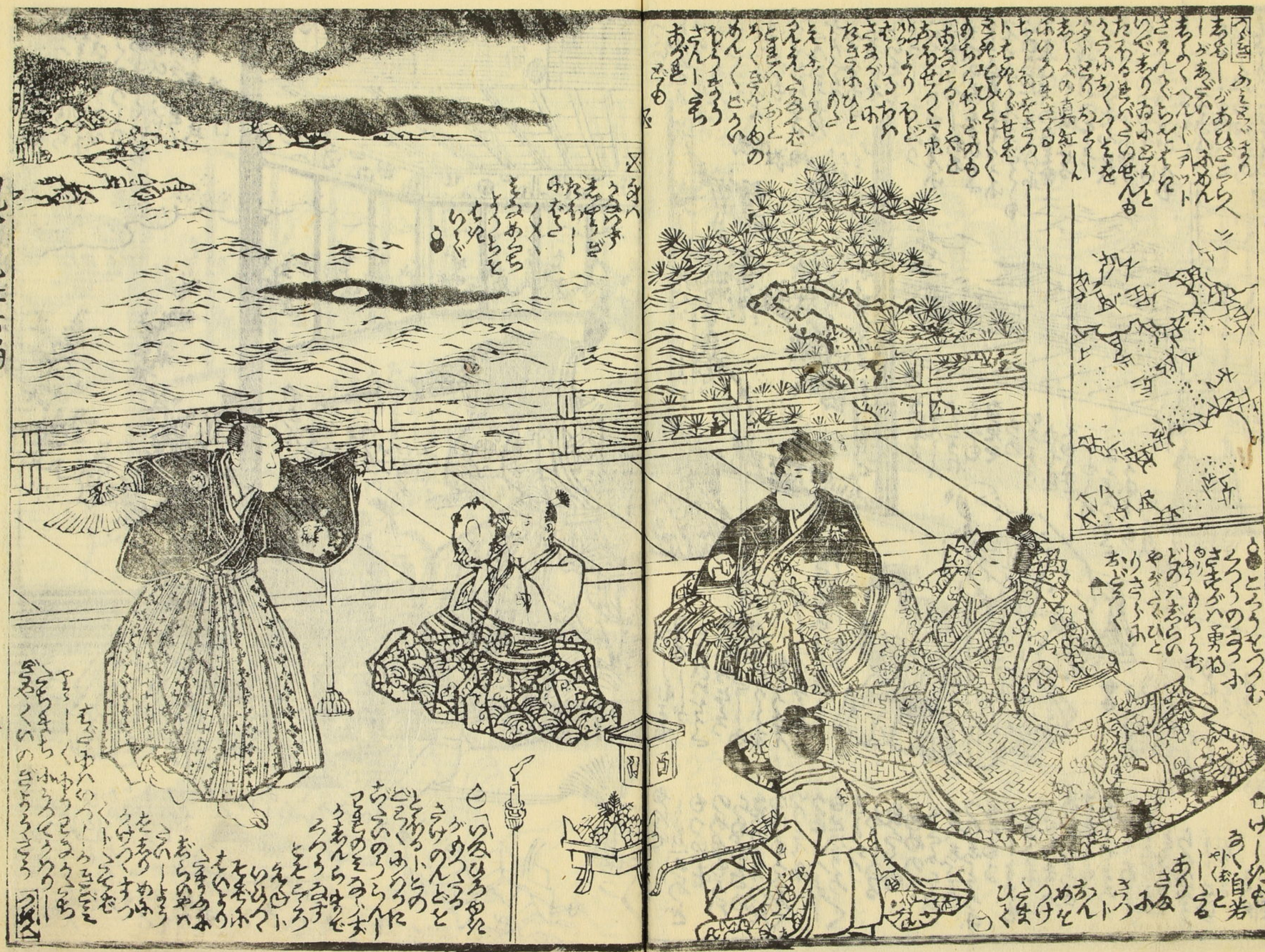
男婦綱手

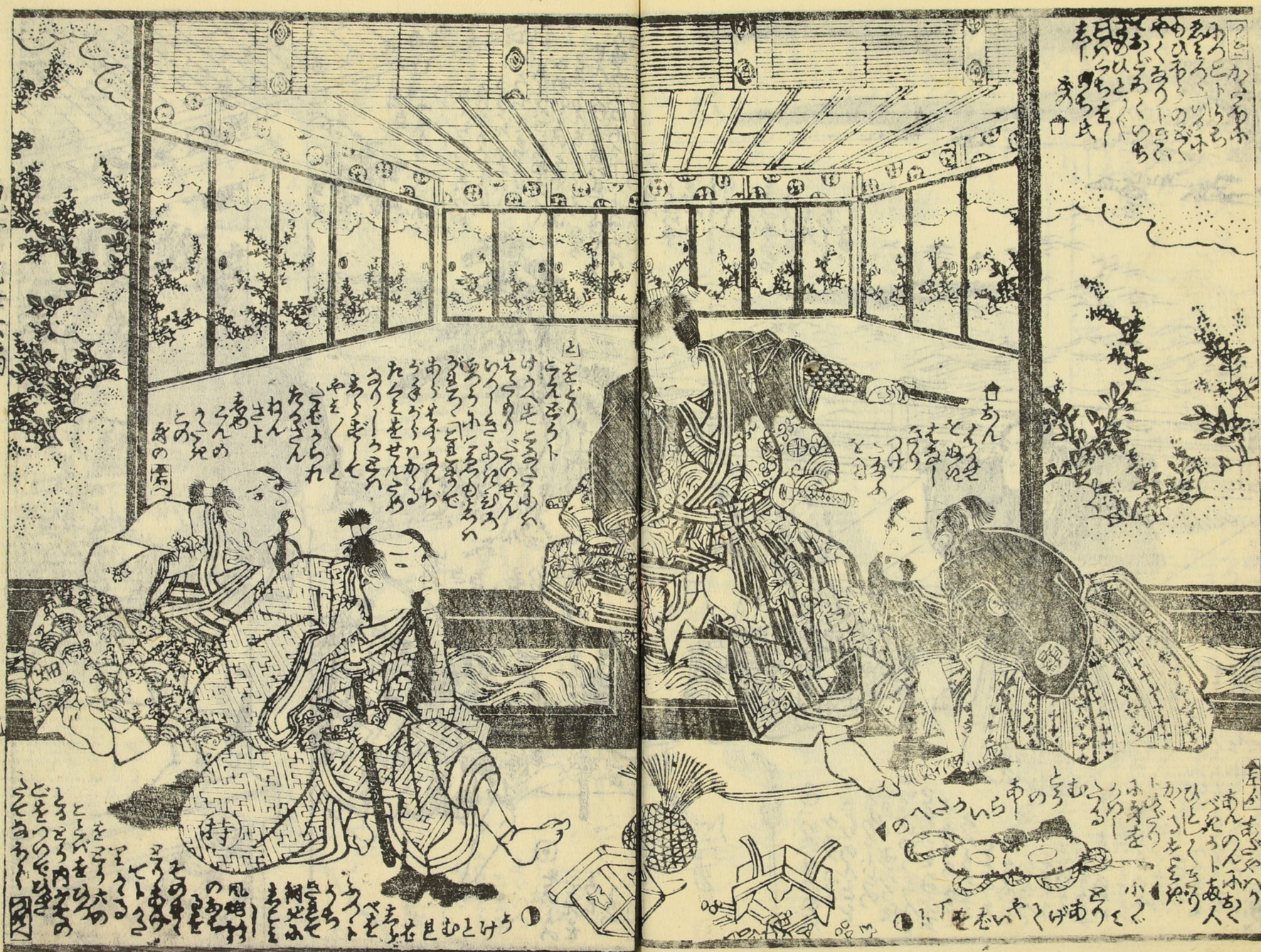

高砂男見之助義住



是より次下五丁の西の兒雷也が謀計を限浦兒孚ぎ虚談の物語と出せり







兒雷也豪傑譚 三十七編 三十八編 三十九編 柳下亭種員作 勇齋國芳画

風俗淺間嶽 十編 十一編 十二編 柳水亭種清作 勇齋國芳画

女郎花五色石臺 八編 九編 柳下亭種員作 勇齋國芳画

不思議塚小說櫻 初編 二編 三編 柳水亭種清作 勇齋國芳画

柳下亭種員作
一勇齋國芳画
仆題曲亥國芳
下

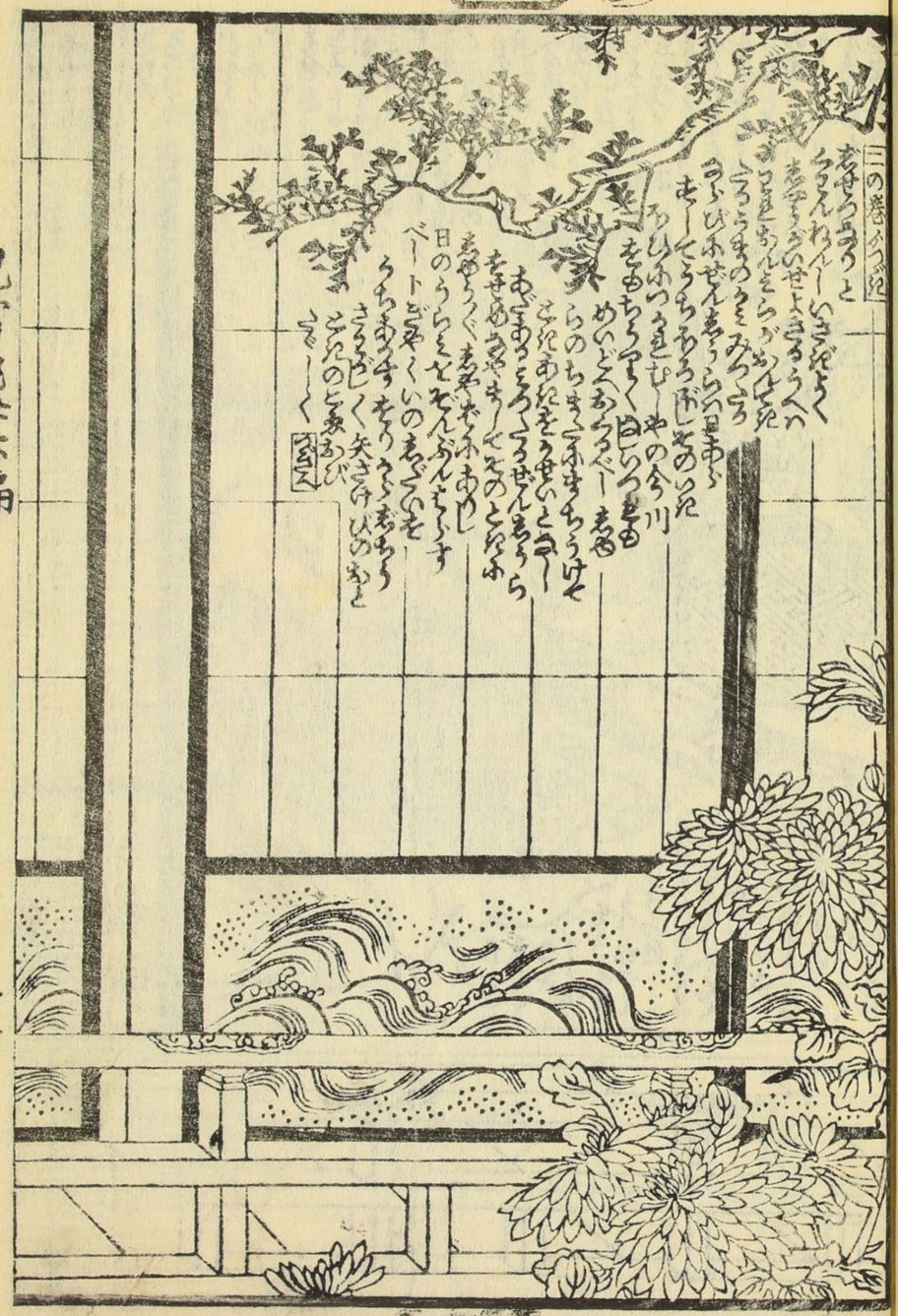
兒雷也州六篇下冊

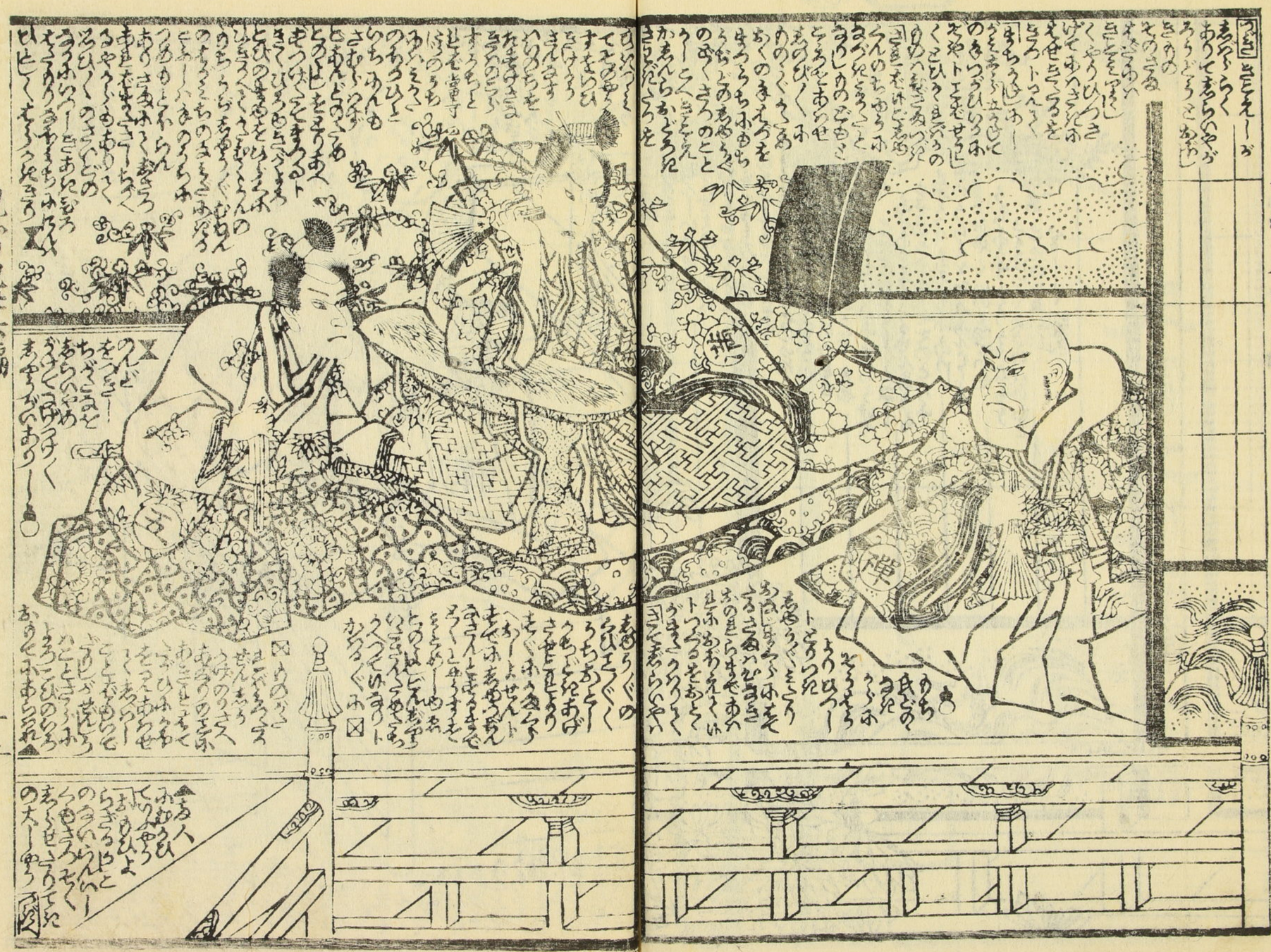
初代歌川豊国作

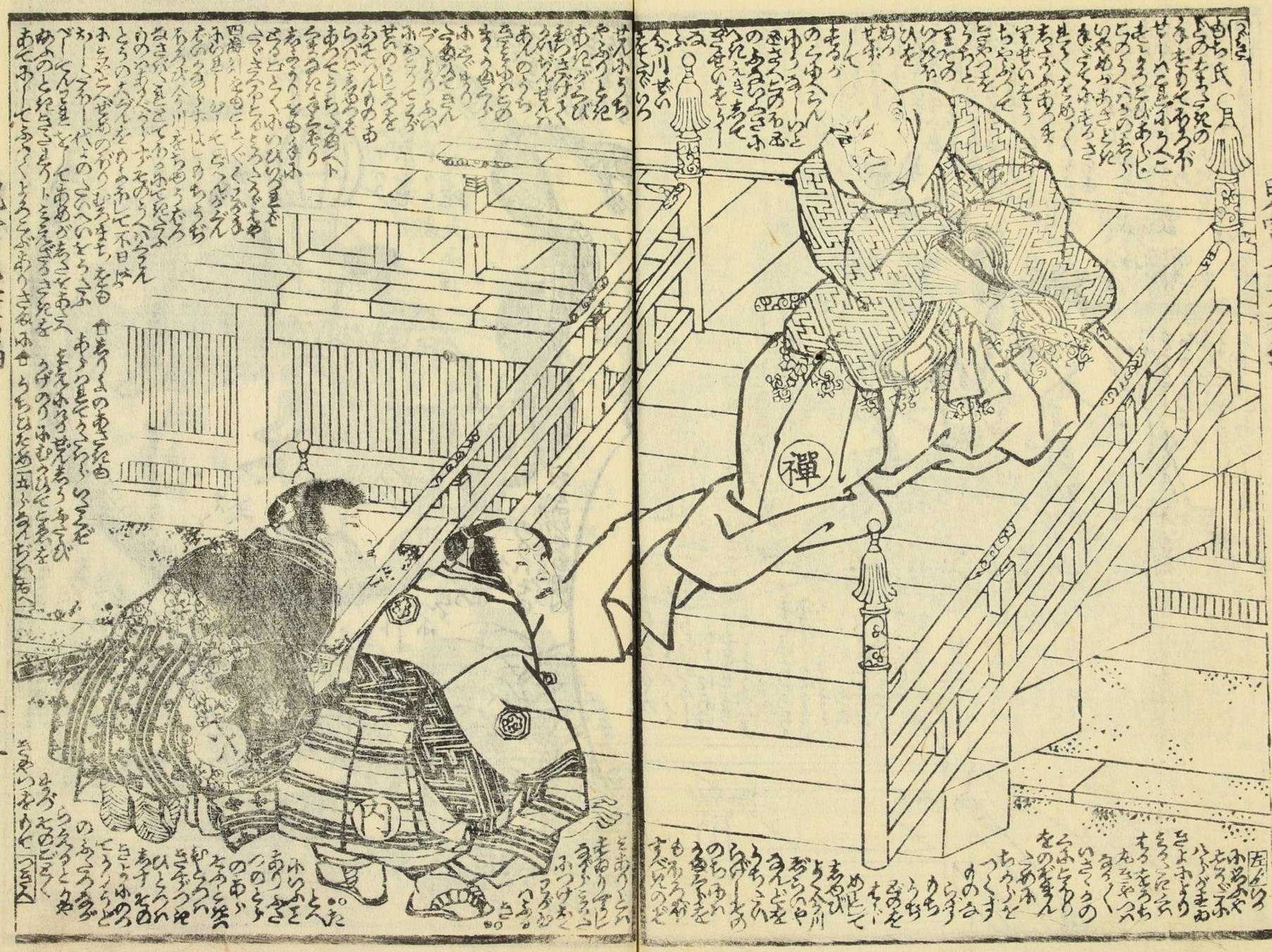
一勇斎国芳画

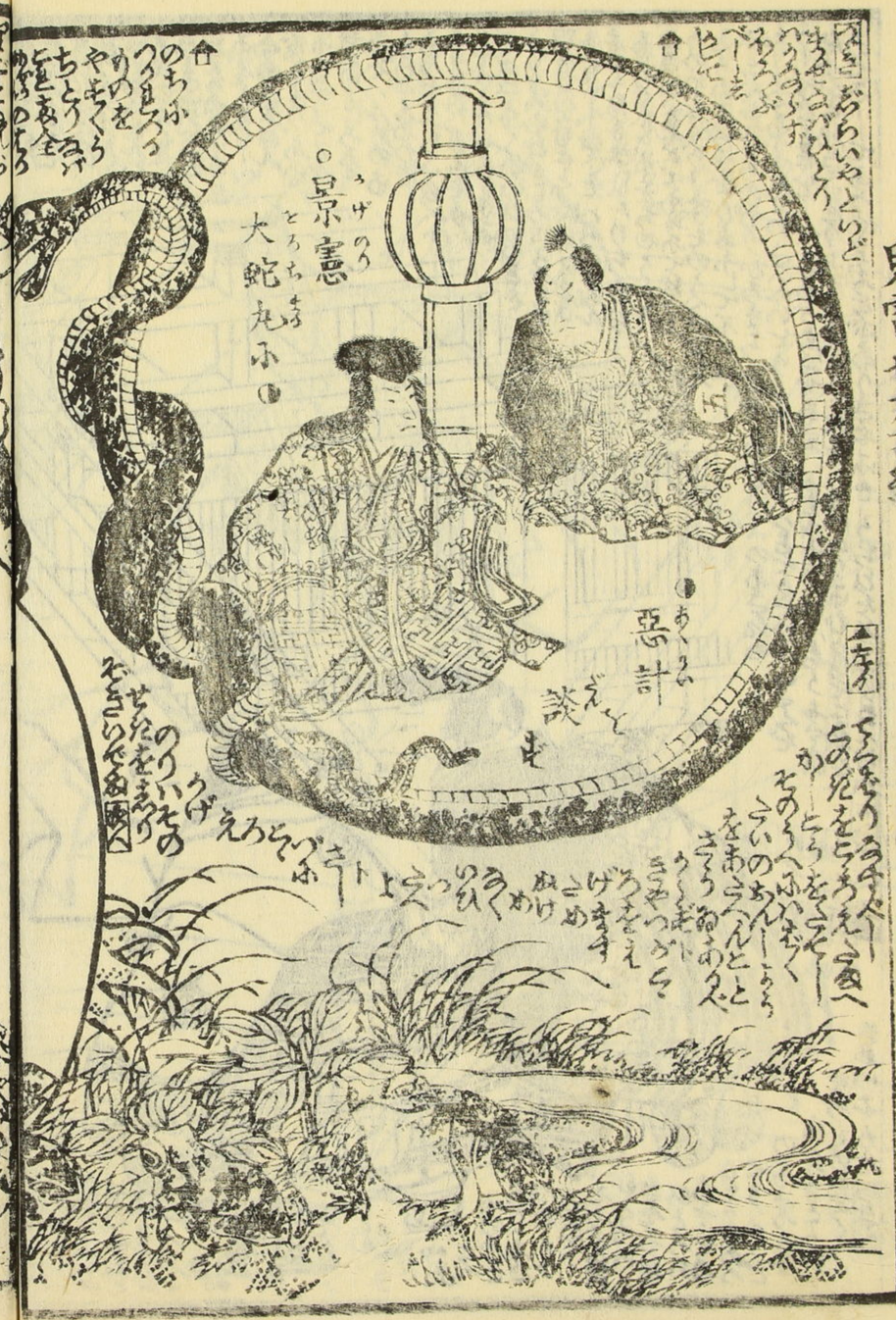
吉冨堂

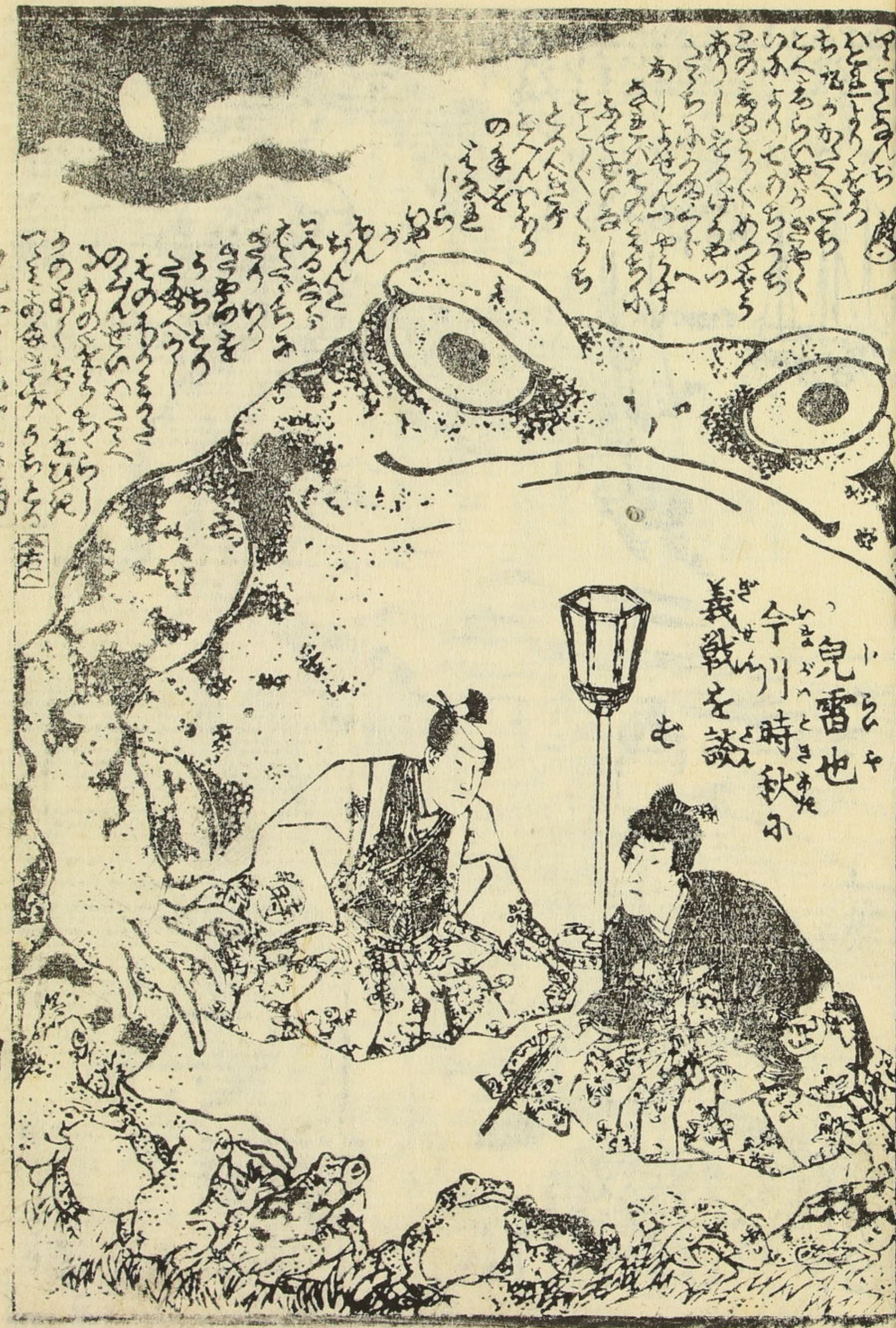
東京






禪
内


景憲
大蛇丸
悪計
談


兒雷也
今川時秋
義戦を談

今川時秋
再鐘馗を
賜へり
持氏公を
助勢し
す

西上太郎五郎鎌倉へ行の途中月影照通の陣を観る

三の巻より

高徳寺

種員作　國芳画

忠臣貞婦　伊呂波文庫

五編　柳煙亭種久作
六編
七編　一勇齋國芳畫

黄金水大盡盞

十一編　為永春水作
十二編
十三編　一勇齋國芳畫

假名反古　一休さまのし

十四編　柳下亭種員作
十五編　一勇齋國芳畫

北斗錦繪

芝紙問屋　甘泉堂　芝神明前
和泉屋市兵衛

兒雷也豪傑譚

種員遺稿　二三十六編

一勇斎國芳画

門人芳房補画

甘泉園